

第4回 地震対策

◆ 次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：平成19年10月1日から、いよいよ緊急地震速報の提供がはじまりました。速報の提供は、私たちが安心して暮らせる日常生活を約束してくれるようにもみえます。しかし、速報を聞いた瞬間にとるべき行動を具体的にイメージしておく必要があるのではないかな。そうでなければ折角の速報も役に立たないですから。

ひろし：でも、緊急地震速報を聞いてから、強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒という話だから、速報を聞いてからどうするか考えていたのでは間に合わないよ。

ありさ：そうね。やはり日頃から、。

問1 ありささんの会話の に入る言葉を考えて書きなさい。

資料1

緊急地震速報を聞いた時は周囲の状況に応じてあわてずにまず身の安全を確保する		
屋内	家庭	②
	人が大勢の施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の係員の指示に従う。 落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない。
屋外	街中	<ul style="list-style-type: none"> 看板や割れたガラスの落下に注意する。 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。
	山やがけ付近	<ul style="list-style-type: none"> 落石やがけくずれに注意する。
乗り物	自動車運転中	<ul style="list-style-type: none"> 急ブレーキをかけず、ゆっくりとスピードを落とす。 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止する。 車を離れるときには、カギをかけない。
	鉄道やバス内	<ul style="list-style-type: none"> つり革や手すりにしっかりとつかまる。 停車してもすぐに飛び出さない。
	エレベーター内	③